

イオン東海

「沖縄の物産と観光フェア」開催決定

イオン ナゴヤドーム前店を旗艦店舗にして東海地区愛知・三重・岐阜・静岡のイオン五六店舗にて「沖縄の物産と観光フェア」が五月二十三日(金)～五月二十七日(火)の五日間で華やかに開催されます。

開催の経緯としては、二〇一一年十二月に沖縄県とイオン株との包括的連携協定の締結に基づき、沖縄県産品の販路拡大・沖縄観光の振興などを目的に各エリアで開催されています。

東海エリアにつきましては今年で四回目に、温暖な気候・風土に育まれた農林水産物を柱に「旬」をテーマにし、沖縄の食文化にスポットをあて、二五〇品の食品や観光及び文化芸術の情報発信を合わせて、トップセールスを始め多彩なイベントで沖縄の魅力を発信していきます。今回の目玉として、二十四(土)・二十五(日)のナゴヤドーム前店では、ハルサーエイカ一のヒーローショーやラジオ沖縄の生放送、そして愛知沖縄県人会連合会加盟団体の協力の下に、エイサー隊の演舞や民謡ショー、更に民謡歌手の松田しのぶさんの島唄でステージがにぎわいますので、是非とも知人友人、ご家族と共にお越しください。



松田しのぶさん

お問合せは
株式会社 沖縄県物産公社
広域事業部
☎ 098-859-6322
比嘉、小浜まで

『戻り籠』 松川伸之

三月二十三日の日曜日に本山生協会館にて「愛知沖縄県人会連合会総会 島くとうばゆんたく会&敬老会」が盛大に開催されました。敬老会に参加された、おじいおばーの方々に喜んでもらうために加盟団体の演目の合間に、ほぼ即興で愛知琉球エイサー太鼓連在籍の中村孝氏とヘアを組み『戻り籠かこ』の寸劇に挑戦しました。



籠屋のうしろが筆者

『戻り籠』は結婚式の余興等でよく演じられ、籠に乗せた女性を籠屋の二人が奪い合い喧嘩を始め、喧嘩の仲裁に出てきた女性の顔を見て美人と思いついて二人が逃げ惑うコントになっていますが、鳥くとうばがわからぬ人にも内容が伝わるように、標準語訳を先にナレーションする等、準備期間が少なく中で知恵を出し合い、なんとか無事済む切ることが出来る。子供が来た愛知沖縄県青年会の『文化祭典』で父が演じていた『戻り籠』を思い出して、今回の自分が演じた『戻り籠』で、私の子供達の心の中に自分のルーツがある沖縄を根付かせる事が出来たらなあと思っています。



子供たちが見つけてくれた戻り籠

先人の軌跡を追いつつ、子供世代にもしっかりと爪痕を残したいです。受けた。潜水艦から発射した魚雷が左舷前方に命中し、船体は激しい振動を起し、同時に停電をして何も見えない真つ暗闇となり、船内は悲鳴や泣き声など恐怖と混乱で大パニック状態となりました。私は、無意識のうちに枕にしていた救命胴衣を抱えて甲板にやつのと脱出。3等船室から甲板に上がる幅3尺の階段が訓練時は比較的スムーズに上がったのが、いざ本番では皆我先にと先を争ってしまい階段を駆け上がるのにはしばらく時間がかかりました。

船体は徐々に左舷側に傾き、船客は次々と海に飛び込み、右舷側の甲板から縄梯子を伝って争って海上に降りていきます。海上の船体の周辺は人、人、人で埋め尽くされ、ボーイさんが救命ボートを海上に下ろし海面に着水すると先を争うようにボートに乗り込み、ボートはその重さで沈みがちになり、ボートの淵だけ見える状態となりました。

神戸港での乗船後は、万一の遭難に備えての教育訓練が毎日行われました。その内容は乗組員から救命胴衣が渡され使用時における注意を聞き、遭難時には、それを持って甲板に出て、身体に装着、白い帽子を被り、縄梯子のある所定の位置で整列して、縄梯子を降りる態勢に入る訓示を聞かれます。

船体が潜水艦からの魚雷攻撃又は、飛行機からの空爆をうけて船が傾きかけたら反対側の高い方の甲板から降りること、海上に降りたら早く船体から遠ざかること、これは船体が沈む時、渦を巻きながら周囲の浮遊物も船体と共に海底に吸い込まれ、また船体が海底に着いたら巻き込まれた浮遊物が浮き上がり身体に当たり二次被害を受けるためです。救助する場合の優先順位は、お年寄りより若い人を、女性より男性を優先して救助するようにと。戦時体制下では、やむを得ない事だったのかもしれない。

蟹江町から沖縄県読谷村へ中学生の観光交流大使

先日、愛知県蟹江町から中学生の皆さんが観光大使として沖縄県の読谷村へ派遣されました。その際の様子を蟹江町観光協会事務局様からご寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

「蟹江町の中学生 沖縄読谷村へ派遣」読谷村と蟹江町の繋がりは、平成二四年十一月に蟹江町長が海部郡町村会長の視察で訪れた事がきっかけでした。

かにえ町民まつりへの座喜味青年会の皆さんによるエイサー演舞や読谷まつりへの参加等を経て、今回蟹江町在住の中学生十名が平成二六年三月二日から三日までの二泊三日で読谷村へ派遣され、蟹江町の観光PRを行いました。

読谷村の人々に蟹江町の良いところを知って欲しい。蟹江町に訪れて欲しいという目的と、民衆生活体験をする事で、蟹江町の中学生に読谷村の歴史

沖縄三板協会名古屋支部誕生！

このたび、今年で一四年目を迎えた沖縄三板協会より、三月八日三板の日に、名古屋支部発足。名古屋支部長としての任命を受けました。沖縄三板協会の発足は、私が沖縄民謡を始め、半々くらい後のことでした。当時の三月八日に、三板の日のイベントに誘われて参加させていただいた時のことを今でも覚えています。名譽顧問の故宮川誠人氏や理事長の田場盛信氏をはじめ、沖縄民謡界で名高い唄者たちから直々に三板の打ち方を教えていただけたり、踊るような楽しい三板の実演を見せていただけたりと、大変興味深い内容でした。



認定書を手にする筆者(右端)

また、私は長年小中学校の現場で音楽教育に携わってきたため、教科書にも掲載されている三板を打つてみようという題材を使って子どもたちと

沖縄民謡に合わせて創作的活動として取り組んだりしてきました。三板は手軽でありながら、その存在感は大きく、沖縄らしさを引き出す魅力的な楽器です。今年二月一日には、北谷町出身の唄者松田利氏と沖縄三板協会事務局の村上佳子氏に御器所のCOTANにて三板講習会&唄唄ライブをやったとき、大盛況でした。三板に関する名古屋の窓口となるべくよう講習会の企画等を積極的に行っていきたくと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。http://okinawa3br-dance6121084.html (沖縄三板協会AKI(丹羽亜希子)沖縄県立芸大研究員COTANオーナー)

愛知エイサー協議会 総会&交流会

去る三月三〇日(日)、愛知エイサー協議会の総会&交流会が、豊田スタジアムインタビュールームで開かれ、新しい会長に中井摩蔵さん(三〇)が選ばれました。総会後にはそれぞれの会が持ち寄った料理をほおぼり、その後子供達も一緒にゲームで交流を深めました。中井摩蔵会長挨拶

この度、愛知エイサー協議会の新会長を勤めさせていただくことになりました。愛知エイサー 我流代表の中井摩蔵です。私は、縁あって愛知エイサー協議会発足当時から活動に関わらせて頂き、今年で9年目となりますが、まさか自分が会長を勤めさせてもらえる日が来るとは思いもよらず、驚きと不安、期待の入り交じった心境です。活動方針として、それぞれの団体を尊重し、いろいろな特徴がある中、エイサーを通して一致団結するとともに切磋琢磨出来るようにしていきます。

個々の団体では難しい事でも、協議会のメンバーが集まれば可能性は広がる！と考えており、それを踏まえて団体同士の交流や、東北ポランテア等を軸として、愛知全体で、それぞれのエイサー団体の発展に協力していきたい体制を作っていきたいと思っております。



豊田スタジアムにて

未熟者ではありますが、一杯勤めさせていただきますので、これから愛知エイサー協議会を、どうぞよろしくお願ひ致します。

私の戦争体験②

黒島彦(知多郡阿久比町在住)

大阪で生まれ、両親の故郷、石垣島に疎開した時に九死に一生を得た黒島彦(ひろし)さん(七九歳)が、昨年、在住の阿久比町の老人会で語った戦争体験を卓人会の紙面でも紹介して頂ける事になりました。貴重な体験を4回に分けてお送りいたします。

神戸港から一万トンの汽船である大和丸に乗船し、門司港から南方へ武器弾薬食糧等を運ぶ輸送船と共に出航して、船団の航行体形は大和丸を中心にして輸送船が周囲を囲んだ形で一路台湾に向けて東シナ海を南下しました。

教育訓練

神戸港での乗船後は、万一の遭難に備えての教育訓練が毎日行われました。その内容は乗組員から救命胴衣が渡され使用時における注意を聞き、遭難時には、それを持って甲板に出て、身体に装着、白い帽子を被り、縄梯子のある所定の位置で整列して、縄梯子を降りる態勢に入る訓示を聞かれます。

船体が潜水艦からの魚雷攻撃又は、飛行機からの空爆をうけて船が傾きかけたら反対側の高い方の甲板から降りること、海上に降りたら早く船体から遠ざかること、これは船体が沈む時、渦を巻きながら周囲の浮遊物も船体と共に海底に吸い込まれ、また船体が海底に着いたら巻き込まれた浮遊物が浮き上がり身体に当たり二次被害を受けるためです。救助する場合の優先順位は、お年寄りより若い人を、女性より男性を優先して救助するようにと。戦時体制下では、やむを得ない事だったのかもしれない。

不安が現実

そして不安が現実となりました。深夜一時二〇分頃、左後方から米潜水艦の魚雷攻撃を

ゆんたく会スナップ



つくることができました。今後ともこの繋がりを大切にし、多くの方々に双方のことを知ってもらえるような事業を展開していきたいと思っております。蟹江町観光協会事務局

愛知沖縄県人会連合会 賛助会員募集中

愛知沖縄県人会連合会は、賛助会員を随時募集しております。年間2000円の賛助会費で愛知の沖縄情報と私たちと交流する機会、お得なサービスをゲットしてください。沖縄出身者、沖縄好きな方、興味のある方は是非HPをご覧ください。http://aichi-okinawa.org/

◇愛知in沖縄イベント情報◇

- ★2014年 5月23日(金)～27日(火) イオン東海「沖縄の物産と観光フェア」 場所 イオン ナゴヤドーム前店 他 (詳細3面参照) お問い合わせ ☎ 098-859-6322 比嘉、小浜まで
- ★2014年 5月10日(土)～25日(日) リトルワールド「うりずん祭り」 期間中の土日にエイサー公演 場所 犬山市今井成沢 90-48 野外民族博物館 リトルワールド内 お問い合わせ ☎ 0568-62-5611
- ★2014年 5月25日(日) 全国チンドン祭り ◎エイサー演舞あります。 一宮市萩原町商店街 お問い合わせ 一宮市萩原町商店街振興組合 ☎ 0586-68-0267

愛知琉球エイサー太鼓連
会長 奥間 貴祐記
E-mail taikoren_8131@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/eisa_taikoren
「愛知エイサー」で検索！メンバー大募集中！

技術部長 砂川 盛一 SUNAKAWA SEIICHI
沖テック有限会社
〒489-0875 愛知県瀬戸市山の田町43番389
TEL(0561)89-5558
FAX(0561)89-5538
e-mail:okitech@poppy.ocn.ne.jp
愛知県厚田町(敷)20番10039号
HP http://www.oki-tech.co.jp

愛知 まいふなエイサー
第十代会長 砂川 盛一 Sunakawa Seiiti
携帯:080-5159-6689
mail:sunakawa.05159@gmail.com

酒場(泡盛)ぐらんでのちや
〒457-0047
名古屋市西区桶下2-5-1第2ビル1F
営業時間 18:00~0:00 休み/日曜、祝日
TEL 052-571-3780 ※名駅南にて3号店オープン

沖縄家庭料理 世界報 林 久江
〒473-0912 豊田市広町4丁目512
TEL0565-52-4727 携帯090-7681-9387
営業時間 17:00~24:00
定休日 日曜日・第3月曜日

琉球民謡保存会・東海支部 山田文門民謡研究所 教師 山田 文門
〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目14-1
TEL (052) 253-6190
携帯 090-1414-9905